

平成 29 年度全国国民健康保険診療施設協議会事業報告

全国国民健康保険診療施設協議会（略称「国診協」）は、国民健康保険法に基づいて設置される国民健康保険診療施設（国保直診）の管理者たる医師・歯科医師を会員とし、国保直診が多く立地している中山間地域・へき地・離島における保健・医療・介護・福祉の連携統合を図り、超高齢社会に対応する地域包括医療・ケアの充実強化と地域包括ケアシステムの構築を目的として、全国国保地域医療学会を開催するほか、種々の事業を積極的に実施しているところである。

国においては、世界一の超高齢社会を背景に持続可能な社会保障制度の確立を図ることを目的とした社会保障・税一体改革の推進のため、平成 24 年 8 月に社会保障制度改革推進法を成立させ、それに基づいて、平成 25 年 8 月に社会保障制度改革国民会議より最終報告書が提出された。そして同年 12 月に「持続可能な社会保障制度の確立を図るための改革の推進に関する法律（いわゆるプログラム法）」を成立させた。

この法律に基づく措置として、平成 26 年 6 月 25 日に 19 本の個別法からなる一括法として「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律（医療介護総合確保推進法）」が公布された。その概要は 1.新たな基金の創設と医療・介護の連携強化、2.地域における効率的かつ効果的な医療提供体制の確保、3.地域包括ケアシステムの構築と費用負担の公平化などである。今回の法律改正で地域包括ケアシステムが規定されたことは、世界一の超高齢社会の日本ではこのシステムが必要不可欠であるということを示している。

国保直診では昭和 40 年代後半から先進的に地域包括医療・ケアの推進に取り組み、在宅医療を含む地域医療を支えてきた。国診協が昭和 59 年に「地域包括医療・ケア」の理念を明文化し、全国的に展開してきたことが最も先進的であることの証である。このことは国保直診の誇りであると共に、フロントランナーとしてさらに質の高い地域包括医療・ケアの推進を率先垂範していく使命があるといえる。

第 6 次の医療法改正で、これまでの病院完結型医療から医療機能の分化・連携による地域完結型医療が求められ、この手法として病床機能の報告制度（高度急性期機能、急性期機能、回復期機能、慢性期の機能）に基づき、知事の責任において都道府県で平成 27 年 4 月より地域医療構想が策定された。国保直診の立場から地域の医療ニーズを踏まえて地域医療構想実現に向けた取り組みを進めていく。（医療法関係は平成 26 年 10 月以降、介護保険法関係は平成 27 年 4 月以降など、順次施行されている。）

医療保険制度改革については、必要な法律（持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律）が平成 27 年 5 月 27 日に成立し、順次公布されることとなっており、国保に対する財政支援の拡充（平成 27 年度から）、国保の財政運営責任の都道府県への移行（平成 30 年度から）、負担の公平化、医療費適正化の推進、患者申出療養の創設等の措置が講じられることとなっている。

診療報酬改定については、平成 28 年 4 月（全体改定率+0.49%）の改定を受けて、会員施設の経営状況等影響調査等を踏まえ、また、平成 30 年 4 月の診療報酬・介護報酬同時改定に向けて平成 29 年 8 月 24 日国に対して要望書を提出した。

また、国により示された新たな公立病院改革ガイドライン、医師確保対策、「総合診療専門医制度」設計に向けての具体的提言等の実施、会員拡大等、さまざまな課題にその都度対応してきた。

更に、医療資源が限られた地域（医療従事者の確保等が困難で医療機関が少なく自己完結型の医療を提供している地域）への対応については、地域包括医療・ケアの充実への要望とともに中山間地域等医療資源不足に悩む我々国保直診に対する支援をその都度要望してきた。

このような情勢を踏まえ、国診協においては国保直診ヒューマンプランの基本理念のもと、急速な高齢化の進行も視野に入れた新しい時代における国保直診の役割、機能を確立し、医師・メディカルスタッフの確保等その基盤強化を図るための事業を実施することが最大の課題である。あわせて、国診協として、既存の医師派遣システム支援の補完を目的とした医師の短期派遣支援の取組み及び消費税増税等による国診協の財政基盤への影響等に留意した一層の効率的な事業運営並びに経費の見直し等についても、引き続き取り組んでいくこととする。このため、国、国民健康保険中央会、都道府県国民健康保険団体連合会その他関係団体と緊密な連携を図りながら事業を実施していくこととしている。

なお、平成 29 年度の事業実施状況は以下のとおりである。

1 組織（平成 30 年 3 月 31 日現在）

- (1) 会 員 788 名
- (2) 役 員
 - 会 長 1 名（定員 1 名）
 - 副 会 長 3 名（定員 3 名以内）
 - 常務理事 8 名（定員 8 名以内）
 - 理 事 31 名（定員 20 名以上 40 名以内 会長、副会長、常務理事を含む）
 - 監 事 2 名（定員 2 名以内）

2 総会等の開催状況

(1) 社員総会

- ① 期 日 平成 29 年 6 月 23 日（金）
- ② 会 場 東京都 アジュール竹芝
- ③ 主要議題（報告事項）
 - 理事の任期途中での辞任等の報告について
 - 理事及び監事の選任に関する規程の一部変更について
 - 参与の委嘱について
 - 平成 28 年度収支予算補正について
 - 平成 28 年度事業報告について（協議事項）
 - 第 57 回全国国保地域医療学会〔東京開催〕について
 - 地域包括医療・ケア研修会〔特別開催〕について
 - 国保直診・口腔保健研修会について
 - 第 58 回全国国保地域医療学会〔徳島県開催〕について
 - 第 32 回現地研究会〔岡山県開催〕について（決議事項）
 - 平成 28 年度収支決算について
 - 理事の選任について
 - 名誉会長の選任について
 - 規定の一部変更（事務局職員に関する規程）について

(2) 理事会 開催回数 2 回

- ① 理事会（事業報告・決算等）
 - 1) 期 日 平成 29 年 5 月 26 日（金）
 - 2) 会 場 東京都 芝パークホテル
 - 3) 主要議題（報告事項）

理事の任期途中での辞任について
役員の職務執行状況について
平成 28 年度収支予算補正について
第 57 回全国国保地域医療学会〔東京開催〕について
地域包括医療・ケア研修会〔特別開催〕について
国保直診・口腔保健研修会について
第 58 回全国国保地域医療学会 開催地の決定〔徳島〕・学会長の
指名等について

(決議事項)

平成 28 年度事業報告について
平成 28 年度収支決算について
理事及び監事選任規程の一部変更について
名誉会長の選任について
参与の推薦について
定時社員総会の招集について

② 理事会

- 1) 期 日 平成 30 年 2 月 23 日(金)
- 2) 会 場 メルパルク東京
- 3) 主要議題 (報告事項)

理事の任期途中での辞任について
役員の職務執行状況報告について
第 57 回全国国保地域医療学会〔東京開催〕報告について
第 59 回全国国保地域医療学会〔長崎・佐賀共同開催〕学会長につ
いて
第 60 回全国国保地域医療学会開催地について

(協議事項)

第 58 回全国国保地域医療学会〔徳島県開催〕について
第 32 回地域医療現地研究会〔岡山県開催〕について

(決議事項)

平成 30 年度事業計画について
平成 30 年度収支予算について
会長専決事項委任について
一時借入金について
規程の一部変更について
ブロック持ち回りにより選任する監事のブロックの順番を定める
件について
会員施設向けの団体賠償責任保険事業の事業区分設定について

(3) 国診協開設者委員会・都道府県国保直診開設者協議会会長合同会議

- ① 期 日 平成 29 年 9 月 20 日(水)
- ② 会 場 メルパルク東京
- ③ 主要議題 第 57 回全国地域医療学会国保直診開設者サミット事前打合せ会
『国保新時代の地域包括医療・ケア～国保直診の役割を考える～』

(4) 国診協都道府県協議会会長・協議会設置国保連合会事務局長合同会議

- ① 期 日 平成 30 年 2 月 23 日(金)
- ② 会 場 メルパルク東京
- ③ 講 演 「国民健康保険制度改革とその対応」
厚生労働省保険局国民健康保険課長 鳥井陽一氏

(5) 正副会長打合せ会

- ① 開催回数 11 回 [うちテレビ会議 5 回]
(平成 29 年 5/26 6/23 7/10 7/24 9/19 10/23 11/20 12/18
平成 30 年 1/19 2/23 3/9)
- ② 主要議事 国の動向等への対応及び組織・事業に関する重要事項について

(6) 執行役員会

- ① 開催回数 5 回
(平成 29 年 5/26 6/23 9/19 平成 30 年 1/22[テレビ会議] 2/23)
- ② 主要議事 国の動向等への対応及び事業運営について

(7) 監事会

- ① 期 日 平成 29 年 5 月 12 日(金)
- ② 主要議事 平成 28 年度事業報告及び決算

3 国診協各委員会・打合せ会等開催状況

- 開設者委員会 3 回(平成 29 年 6/23 9/20 平成 30 年 2/23)
- 総務企画委員会 (緊急課題等についてメールでの意見交換を実施)
- 各委員会・部会合同会議 (緊急課題等についてメールでの意見交換を実施)
- 調査研究委員会 2 回 [テレビ会議] (平成 30 年 3/20 3/27)
- 広報情報委員会 4 回(平成 29 年 6/1 8/24 11/9 平成 30 年 2/8[テレビ会議])
- 地域医療・学術委員会 3 回(平成 29 年 5/19 10/27[テレビ会議] 平成 30 年 1/19)
- 歯科保健部会 (緊急課題等についてメールでの意見交換を実施)
- 診療所部会 (緊急課題等についてメールでの意見交換を実施)
- 施設経営委員会(緊急課題等についてメールでの意見交換を実施)
- 地域ケア委員会・各部会合同会議 2 回(平成 29 年 6/28 9/20)
摂食嚥下・NST 部会、在宅医療推進部会、看護・介護部会
リハビリテーション部会
- 第 57 回全国国保地域医療学会 [東京開催]
実行委員会・部会代表者打合せ 3 回 (平成 29 年 5/12 6/28 8/4)
学術部会 2 回 (平成 29 年 4/2 6/28)
事務部会(スタッフ責任者会議含む) 2 回 (平成 29 年 6/28 8/30)
- 資金運営委員会 (-)
- 調査研究事業倫理委員会 (倫理審査の対象事業なし)
- 老人保健福祉調査研究会 (-)
- 地域包括医療・ケア認定制度審査委員会 2 回 (平成 29 年 9/6 書面審査)
- 地域包括医療・ケア認定制度運営委員会 2 回 (平成 29 年 9/13 平成 30 年 3/16)
- 国診協・全自病協との打合せ会 (定例) 2 回 (平成 29 年 9/13 平成 30 年 3/16)
- 国診協・自治医科大学との懇談会(定例) 1 回 (平成 30 年 3/9)
- 総合診療専門医合同対策委員会(全自病協、国診協) 1 回 (平成 29 年 9/13)
- 医師臨床研修指導医講習会ディレクター会議 1 回 (平成 30 年 2/7)
- 地域医療を守る病院協議会 7 回 (事前打合せ会含む)

⇒地方に多くの病院を有する5団体により平成29年9月28日に設立。
 (平成29年6/15 9/28、10/11、11/29、12/20、平成30年2/1、3/14)

4 学会・研修会等の開催結果

(1) 第57回全国国保地域医療学会[東京開催]

- ① 会 期 平成29年9月20日(水)・21日(木)
- ② 会 場 ホテルメルパルク東京・メルパルクホール
- ③ 参加者 1,229名

(一般参加者 1,068名(参加者兼スタッフ126名含む)、来賓及び出演者49名、
 スタッフ40名、出展業者15名、一般市民(公開講座のみ)57名)

④ メインテーマ 「国保新時代へ翔びたとう、国保直診～国保制度改革を見据えて～」

⑤ 学会内容

1) 特別講演 9月20日(水) 10:10～11:20 (70分)

演 題	地域包括ケアで真の安心を構築するには	
講 師	渡辺 俊介氏	国際医療福祉大学大学院教授
司会者	押淵 徹	学会長/国診協会長 長崎県：国民健康保険平戸市民病院長

2) 宿題報告 9月20日(水) 11:30～12:00 (30分)

演 題	地域包括ケアで日本の未来を切りひらこう ～海・山・川の恵みの阿波の国での実践～	
報告者	沖津 修氏	徳島県：つるぎ町立半田病院事業管理者
司会者	五十嵐 俊久	副学会長/国診協常務理事 神奈川県：大和市立病院長

3) 国保直診開設者サミット ～国保直診の課題について市町村長とともに語ろう～ 9月20日(水) 14:20～16:00 (100分)

テーマ	国保新時代の地域包括医療・ケア～国保直診の役割を考える～	
司会者	藤本 昭夫	国診協開設者委員会副委員長 大分県：姫島村長
	福山 悦男	副学会長/国診協副会長 千葉県：君津中央病院企業団企業長
助言者	鳥井 陽一氏	厚生労働省保険局国民健康保険課長
発言者	岩田 利雄氏	国診協開設者委員会委員 千葉県：東庄町長
	塩田 幸雄氏	香川県：小豆島町長
	小澤 幸弘氏	神奈川県：三浦市立病院総病院長

特別 発言者	押淵 徹氏	学会長／国診協会会長 長崎県：国民健康保険平戸市民病院長
-----------	-------	---------------------------------

4) シンポジウム 9月21日(木) 9:00～11:00 (120分)

テーマ	国保新時代の地域包括ケアを目指して	
司会者	金丸 吉昌	国診協副会長 宮崎県：美郷町地域包括医療局総院長
	中原 智子	副学会長／国診協理事 茨城県：県西総合病院長
助言者	山口 昇氏	国診協名誉会長 広島県：公立みつぎ総合病院名誉院長・特別顧問
発言者	後藤 忠雄氏	岐阜県：県北西部地域医療センター長兼国保白鳥病院長
	長谷 剛志氏	石川県：公立能登総合病院歯科口腔外科部長
	大久保築世氏	埼玉県：小鹿野町保健課保健師
	名出 美紀氏	香川県：さぬき市民病院リハビリテーション技術科長
特別 発言者	横尾 俊彦氏	国診協理事／開設者委員会委員 佐賀県：多久市長

5) 公開講座 9月21日(木) 13:00～14:00 (90分)

演題	健康を越えた“健幸”へ ～だれでも幸せになれる確かな方法はあるのか？～	
講師	中村 伸一氏	国診協診療所部会長 福井県：おおい町国保名田庄診療所長
司会者	白川 和豊	国診協常務理事 香川県：三豊総合病院企業団企業長

6) 研究発表 演題数 228題(口演発表 131題、デジタルポスター発表 97題)

演題分類		演題数
1	看護に関するもの	26
2	リハビリテーションに関する者	14
3	終末期医療・ケアに関するもの	12
4	在宅医療・ケアに関するもの	14
5	チーム医療に関するもの	6
6	連携に関するもの	14
7	医師に関するもの	7
8	薬剤に関するもの	5
9	放射線医学に関するもの	4

10	保健事業に関するもの	36
11	感染管理に関するもの	10
12	教育・人材育成に関するもの	14
13	歯科・口腔に関するもの	11
14	地域づくりに関するもの	4
15	安全管理に関するもの	10
16	医療・リハに関するもの	7
17	検査に関するもの	3
18	栄養管理に関するもの	4
19	医療経済・受療行動に関するもの	3
20	施設の運営・管理に関するもの	10
21	多職種連携に関するもの	6
22	退院支援に関するもの	8

7) 参加型ワークショップ (KJ法を含む) 9月20日(水) 11:30~14:10 (160分)

メインテーマ	私が考える総合診療医	
ディレクター	岩崎 榮氏	国診協参与 NPO 法人卒後臨床研修評価機構専務理事
タスクフォース	林 拓男氏	広島県：公立みつぎ総合病院名誉院長
	佐々木 学氏	長野県：国保北山診療所長
	中村 伸一氏	福井県：おおい町国保名田庄診療所長
	野村 英樹氏	石川県：金沢大学付属病院総合診療部・特任教授
	山内 香織氏	広島県：公立みつぎ総合病院副看護部長

【グループワーク出席者】26名

8) 専門分科会 9月21日(木) 9:00~10:30 (90分)

①	テーマ	在宅医療推進における看看連携	
	司会者	山内 香織	地域ケア委員会／看護・介護部会長 広島県：公立みつぎ総合病院副看護部長
	助言者	角田 直枝氏	茨城県立中央病院 茨城県地域がんセンター看護局長
	発言者	竹澤 和美氏	富山県：南砺市民病院看護部長
		相部英美子氏	大分県：国東市民病院看護師
細萱 信予氏		長野県：長野厚生連佐久総合病院副看護部長	

②	テーマ	在宅医療とネットワークづくり ～退院支援から看取り、住民支援まで～	
	司会者	大原 昌樹	地域ケア委員会／在宅医療推進部会長 香川県：綾川町国保陶病院

	発言者	古賀 正義氏	大分県：国東市民病院健診部門部長
		中東奈津紀氏	広島県：やまゆり居宅介護支援事業所
		岩井 里美氏	鳥取県：日南町地域包括支援センター

③	テーマ	地域包括ケアに資する国保直診のリハビリ専門職の役割 ～医療・介護で地域を支えるために～	
	司会者	村上 重紀	地域ケア委員会／リハビリテーション部会長 広島県：公立みつぎ総合病院リハビリ部参与
	発言者	北谷 正浩氏	地域ケア委員会／リハビリテーション部会副部長 石川県：公立羽咋病院リハビリテーション科士長
		中村 晋也氏	大分県：国東市民病院リハビリテーション科技士長
		村山 謙治氏	長崎県：国保平戸市民病院リハビリ班班長
大野木英二氏		広島県：公立みつぎ総合病院リハビリ部主任	

④	テーマ	住民の「食べる楽しみ」を支えるまちづくり	
	司会者	木村 年秀	地域ケア委員会／摂食嚥下・NST 研究部会長
	発言者	鷲尾憲文氏	岡山県：鏡野町国民健康保険富歯科診療所長
		後藤拓朗氏	香川県：三豊総合病院歯科保健センター・副医長
吉村美佳氏		広島県：公立みつぎ総合病院リハビリ部技師長	

9) 教育セミナー 9月21日(木) 11:50～12:50 (60分)

演 題	厚生労働省の医療・介護政策と地域包括ケアのこれから	
講 師	伊関 友伸氏	城西大学経営学部教授
司会者	靱井 眞二	国診協副会長／大分県：国東市民病院長

10) スキルアップセミナー 9月21日(木) 12:10～12:50 (40分)

①	演 題	病院と地域を”看護”がつなぐ	
	講 師	角田 直枝氏	茨城県立中央病院 茨城県地域がんセンター看護局長
	司会者	阿部 吉弘	国診協常務理事／山形県：小国町立病院長
②	演 題	多職種連携が在宅ケアをステキにする	

	講師	東條 環樹氏	広島県：北広島町雄鹿原診療所長
	司会者	郷力 和明	国診協常務理事 広島県：庄原市病院事業管理者兼西城市民病院長
③	演題	地域における在宅栄養ケア～つなげる・つながる食支援	
	講師	江頭 文江氏	地域栄養ケア PEACH 厚木代表／管理栄養士
	司会者	高山 博史	国診協常務理事 滋賀県：高島市病院事業管理者兼高島市民病院長
④	演題	地域包括ケアの時代、リハ専門職に求められること	
	講師	斉藤 秀之氏	日本理学療法士協会副会長 筑波記念病院リハビリテーション部長
	司会者	小野 剛	国診協常務理事／秋田県：市立大森病院長
⑤	演題	免疫能賦活のための口腔ケアと福祉施設、在宅で実施する摂食機能療法	
	講師	植田耕一郎氏	日本大学歯学部附属歯科病院副院長 日本大学歯学部摂食機能療法学講座教授
	司会者	黒木 嘉人	国診協常務理事／岐阜県：飛騨市民病院長

(2) 第31回地域医療現地研究会

- ① 開催期日 平成29年5月19日(金)・20日(土)
- ② 開催地 福井県敦賀市 [会場]プラザ萬象
- ③ メインテーマ 「地域の絆と地域包括医療・ケア」
～恐竜王国で地域医療再生の鍵を発掘！～
- ④ 参加人員 232名
- ⑤ 内容 先進的国保直診活動状況の視察研究
研修施設 若狭町国民健康保険上中診療所・三方診療所
おおい町国民健康保険名田庄診療所
高浜町国民健康保険和田診療所

(3) 地域包括医療・ケア研修会

① 地域包括医療・ケア研修会【特別開催】

- 期 日 平成29年9月20日(水)・21日(木)
*全国学会[東京]の1日目・2日目の終了後に開催
- 研修会会場 メルパルクホール／ホテルメルパルク東京
- ◎メインテーマ 『拓け 地域包括ケアシステム新時代』
～新たな国保制度、総合診療専門医制度を見据えて～

時 間	【第1日】 — 9月20日(水) —
16:15 ～ 16:20 (0:05)	○開講式 挨拶 公益社団法人全国国民健康保険診療施設協議会会長 押淵 徹 公益社団法人国民健康保険中央会理事長 原 勝則
16:20 ～ 16:40 (0:20)	○会長講演 演題：「総合診療専門医制度に向けた国診協・国保直診の役割」 講師：押淵 徹〔国診協会会長／長崎県・国民健康保険平戸市民病院長〕
16:40 ～ 17:20 (0:40)	○基調講演 演題：「在宅医療介護連携—ごちゃまぜ多職種研修！」 講師：吉村 学 氏〔宮崎大学医学部地域医療・総合診療医学講座教授〕 司会：靱井 眞二〔国診協副会長／大分県・国東市民病院長〕
	*休憩・会場移動(10分)
17:30 ～ 18:30 (1:00)	○イブニングセミナー1.....会場：ホテル5階「瑞雲」 演題：「地域包括ケアの新しいカタチ～地域主体の健康のまちづくり」 講師：井階 友貴 氏〔福井県：高浜町国民健康保険和田診療所医師〕 司会：安東 正晴〔国診協地域医療・学術委員会副委員長／香川県・三豊総合病院長〕 ○イブニングセミナー2.....会場：ホテル3階「薔薇」 演題：「住まいとケアの新しい関係～これからの地域包括ケアの展開のために」 講師：高橋 紘士 氏〔高齢者住宅財団特別顧問(前理事長)〕 司会：金岡 光雄〔国診協地域医療・学術委員会副委員長／愛媛県・国民健康保険久万高原町立病院長〕 ○イブニングセミナー3.....会場：ホテル4階「白鳥」 演題：「総合診療専門医制度のこれまでとこれから」 講師：中村 伸一 氏〔福井県・おおい町国保名田庄診療所長〕 特別発言：野村 英樹 氏〔石川県・金沢大学付属病院総合診療部部長〕 司会：金丸 吉昌〔国診協副会長／宮崎県・美郷町地域包括医療局総院長〕 ○イブニングセミナー4.....会場：ホテル3階「牡丹」 演題：「保険者としての地域包括ケアの取組(国保直診施設との連携)」 講師：鎌形 喜代実 氏(公益社団法人国民健康保険中央会調査役) 司会：飯山 幸雄(公益社団法人国民健康保険中央会常務理事) ○イブニングセミナー5.....会場：ホテル4階「孔雀」 演題：「認知症の人への支援の視点からみた食」 講師：枝広 あや子 氏〔東京都健康長寿医療センター研究所自立促進と介護予防研究チーム研究員〕 司会：徳田 道昭〔国診協地域医療・学術委員会委員／香川県・さぬき市民病院長〕 ○イブニングセミナー6.....会場：ホテル6階「ラ・ルミエール」 演題：「AIが代替できない医師の人間性とインフォームド・コンセント」 — 患者が求める医療のコミュニケーション —

	<p>講師：佐伯 晴子 氏〔一般社団法人マイインフォームド・コンセント理事長〕 司会：西村 修平〔国診協地域医療・学術委員会委員／広島県・公立みつぎ総合病院長〕</p> <p>○イブニングセミナー7・・・・・・・・・・・・・・・・・・会場：ホテル3階「百合」 演題：『『生きる』を支えるための口腔ケア』 — 多職種で関わるために —</p> <p>講師：小原由紀氏〔東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科口腔健康教育学分野講師〕 司会：奥山 秀樹〔国診協歯科保健部会長／長野県・佐久市立国保浅間総合病院医療技術部長・歯科口腔外科医長〕</p>
--	---

時 間	【第2日】 — 9月21日(木) —
14:30 ～ 16:30 (2:00)	<p>○シンポジウム テーマ：「地域づくりにおけるフレイル（オーラルフレイル）対策」</p> <p>◆基調講演（40分） 「高齢者の保健事業の現状と課題-フレイル対策を中心として-」 鈴木 隆雄 氏 〔国立長寿医療研究センター総長特任補佐／桜美林大学老年学研究所所長〕</p> <p>◆発言者（シンポジスト）</p> <p>①：「いまなぜオーラルフレイルがなぜ注目されるのか」（20分） 平野 浩彦 氏〔東京都健康長寿医療センター歯科口腔外科部長〕</p> <p>②：「地域づくりにおけるフレイル対策」（15分） 田辺 大起 氏〔鳥取県・日南町国保日南病院主任理学療法士〕</p> <p>③：「まちのフレイルを防げ！～異業種連携&住民主体で取り組むまちづくり～」(15分) 丸岡 三紗 氏〔香川県・まんのう町国保造田歯科診療所歯科衛生士〕</p> <p>◆助言（10分） 鈴木 隆雄 氏 〔国立長寿医療研究センター総長特任補佐／桜美林大学老年学研究所所長〕</p> <p>◆フロアーとの質疑（15分）</p> <p>◆司会 福山 悦男〔国診協副会長／千葉県・君津中央病院企業団企業長〕 阿部 吉弘〔国診協常務理事／地域医療・学術委員会委員長／山形県・小国町立病院院長〕</p>
16:30 ～ 16:35	<p>○閉講式 閉会挨拶</p>

※イブニングセミナー講師打合会場：ホテルメルパルク東京 5F「華厳」

※シンポジウム発言者等打合会場：メルパルクホール1F「貴賓室」

② 地域包括医療・ケア研修会【通常開催】

○ 期 日 平成30年1月19日(金)・20日(土)

○ 研修会会場 富士ソフト アキバプラザ「アキバホール」(東京秋葉原)

○ 参加人員 151名

◎メインテーマ 「みんなで築いていこう！ わがまち独自の地域包括ケアシステム」
 ～国保直診がまちづくりの一翼を担うために～

時 間	【第1日】 — 1月19日（金） —
13:00-13:10 (10分)	○開講式 主催者挨拶 押淵 徹（公益社団法人全国国民健康保険診療施設協議会会長） 飯山 幸雄（公益社団法人国民健康保険中央会常務理事）
13:10-14:10 (60分)	○講演〔Ⅰ〕 演題：「国保データベース（KDB）システムを活用した保健事業の展開」 講師：鎌形 喜代実 氏（国民健康保険中央会調査役） 司会：飯山 幸雄（国民健康保険中央会常務理事）
14:10-14:20	*休憩（10分）
14:20-15:50 (90分)	○パネルディスカッション〔Ⅰ〕 演題：「わがまち独自の地域包括ケアシステム」 ～国民健康保険の歴史から紐解く地域包括ケアシステム～ 発表者①：近藤 隆則 氏（岡山県・高梁市長） 発表者②：菅原 英次 氏（岡山県・高梁市川上診療所長） 発表者③：南 温 氏（岐阜県・県北西部地域医療センター国保和良歯科診療所長） 司会：阿部 吉弘（国診協常務理事・地域医療・学術委員会委員長／山形県・小国町立病院院長）
15:50-16:00	*休憩（10分）
16:00-17:00 (60分)	○講演〔Ⅱ〕 演題：「国民健康保険制度改革とその対応」 講師：鳥井 陽一氏（厚生労働省保険局国民健康保険課長） 司会：押淵 徹（国診協会会長／長崎県・国保平戸市民病院長）
17:00-17:05	*休憩（5分）
17:05-18:05 (60分)	○講演〔Ⅲ〕 演題：「地域包括ケアと地域リハビリテーション」 講師：松坂 誠應 氏（一般社団法人是真会 長崎リハビリテーション病院理事・地域リハビリテーション統括） （全国地域リハビリテーション支援事業連絡協議会会長） 司会：西村 修平（国診協地域医療・学術委員会委員／広島県・公立みつぎ総合病院長）
18:05-18:15	*休憩・会場移動（10分）
18:15-20:00 (105分)	○地域医療交流会 「国保直診の仲間たちと交流を深めよう」 司会：沖津 修（国診協地域医療学術委員会委員／徳島県・つるぎ町立半田病院事業管理者） 奥山 秀樹（国診協歯科保健部会長／長野県・佐久市立国保浅間総合病院医療技術部長兼歯科口腔外科医長）

時 間	【第2日】 — 1月20日(土) —
8:30-9:45 (75分)	○パネルディスカッション〔Ⅱ〕 演題：「地域包括ケアの場における特定看護師・認定看護師の役割」 発表者①：遠藤 愛子 氏（秋田県・市立大森病院特定看護師） 発表者②：高橋 廣美 氏（福島県・公立藤田総合病院認知症看護認定看護師） 発表者③：政田 美喜 氏（香川県・三豊総合病院皮膚・排泄ケア認定看護師） 司会：靱井 眞二（国診協副会長／大分県・国東市民病院長）
9:45-9:50	*休憩（5分）
9:50-11:05 (75分)	○パネルディスカッション〔Ⅲ〕 演題：「診療所が面白い～オンリーワンの〇〇〇〇」 発表者①：橋村 和樹 氏（栃木県・佐野市国保氷室診療所長） 発表者②：川尻 宏昭 氏（岐阜県・高山市国保高根診療所長兼高山市市民保健部参事・地域医療統括担当） 発表者③：木村 年秀 氏（香川県・まんのう町国保造田歯科診療所長） 司会：中村 伸一（国診協診療所部会長／福井県・おおい町国保名田庄診療所長）
11:05-11:10	*休憩（5分）
11:10-12:10 (60分)	○講演〔Ⅳ〕 演題：「地域における認知症対策」 講師：木村 成志 氏（大分大学医学部神経内科学講座准教授） 司会：徳田 道昭（国診協地域医療学術委員会委員／香川県・さぬき市民病院長）
12:10-13:00	*休憩／昼食(50分) ○ランチョンセミナー（12:25～12:55） 「第56回全国国保地域医療学会優秀研究から学ぶ」 最優秀演題 内田 望 氏（埼玉県・国保町立小鹿野中央病院地域包括医療部長）
13:00-14:15 (75分)	○パネルディスカッション〔Ⅳ〕 演題：「医療介護連携（退院時支援・在宅連携シート）とネットワークづくり」 発表者①：東條 環樹 氏（広島県・北広島町雄鹿原診療所長） 発表者②：宮崎 亜希 氏（大分県・社会福祉法人安岐の郷指定介護支援事業所鈴鳴荘社会福祉士・介護支援専門員） 発表者③：安江 耕作 氏（岐阜県・中津川市民病院リハビリテーション技術科主任言語聴覚士） 司会：小野 剛（国診協常務理事・地域ケア委員会委員長／秋田県・市立大森病院長）
14:15-14:20	*休憩（5分）
14:20-15:35 (75分)	○パネルディスカッション〔Ⅴ〕 演題：「地域連携-地域における食支援」 発表者①：長谷 剛志 氏（石川県・公立能登総合病院歯科口腔外科部長） 発表者②：伊藤 ひとみ 氏（岐阜県歯科衛生士会理事／特別養護老人ホームほほえみ福寿の家歯科衛生士） 発表者③：吉村 美佳 氏（広島県・公立みつぎ総合病院リハビリ部技師長・言語聴覚士） 司会：安東 正晴（国診協地域医療学術委員会副委員長／香川県・三豊総合病院長）
15:35-	○閉講式 閉会挨拶 金丸 吉昌（国診協副会長／宮崎県・美郷町地域包括医療局総院長）

(4) 国保直診口腔保健研修会

- 期 日 平成 29 年 9 月 20 日 (水) 18 : 40 ~
- 参加人員 65 名
- 会 場 ホテルメルパルク東京
- 研 修 会 18 : 40 ~ 19 : 40 ホテルメルパルク東京 4F 「孔雀」
- 情報交換 19 : 50 ~ 21 : 00 ホテルメルパルク東京 2F 「funon」

18 : 30 ~	○受付
18 : 40 ~ 18 : 45	○開会 挨拶 全国国民健康保険診療施設協議会会長 押淵 徹 (長崎県・国民健康保険平戸市民病院長)
18 : 45 ~ 19 : 35	○講演 (50 分) 「在宅高齢者の食支援」～フレイルの抽出に歯科は最高!～ 水島 美保 氏 : 在宅栄養管理ステーションもぐもぐ大阪 管理栄養士 司会 全国国民健康保険診療施設協議会歯科保健部会委員 澤田弘一 (岡山県・鏡野町国民健康保険上齋原歯科診療所長)
19 : 35 ~ 19 : 40	○閉会 挨拶 全国国民健康保険診療施設協議会副会長 榎井眞二 (大分県・国東市民病院長)
19 : 50 ~ 21 : 00	○情報交換会

(5) 「リハビリ専門職の人材育成に係る研修会」

(国診協 地域ケア委員会リハビリテーション部会主催)

- 開催日時 平成 30 年 2 月 16 日 (金) 午後 ~ 17 日 (土) 午前
- 開催地 長崎県 佐々町総合福祉センター
- 参加人員 35 名
(国保診療施設 12 施設から理学療法士、作業療法士及び言語聴覚士ほか参加)

○研修テーマ「地域ケア会議におけるリハビリ専門職の役割」

平成 30 年 2 月 16 日 (金) / 1 日目	
13 : 00	集合・受付 (長崎県・佐々町総合福祉センター)
13 : 20 ~ 13 : 25	開講式 挨拶 全国国民健康保険診療施設協議会会長 押淵 徹 (長崎県・国民健康保険平戸市民病院長)

13:30 ～ 14:20	○佐々町概要説明： 江田佳子（佐々町住民福祉課課長補佐・保健師） ○施設・事業実施現場見学 佐々町総合福祉センター
	休憩
14:30 ～ 16:20	○地域ケア会議の実際（見学）：3 ケース ケース例 ① 地域ケア会議でのリハビリ専門職の関り・助言等 ② 福祉用具の導入、住宅改修が必要な場合の調整 ③ 在宅での継続したりハビリの必要な対象者への支援 等 ※見学にあたっては、守秘義務等の書類に署名いただきます。
	休憩
16:30 ～ 18:00	○講義 1 「佐々町における地域包括ケアシステム構築に向けた取り組み」 講師： 江田佳子（佐々町住民福祉課課長補佐・保健師） 大浦むつみ（佐々町生活支援コーディネーター・主任介護支援専門員・ 認知症地域支援推進員） * 質疑応答 司会進行： 大石典史（国診協リハビリテーション部会委員） （長崎県・国民健康保険平戸市民病院）
	移動・休憩
18:30 ～ 20:30	○情報交換会（交流会） ※参加費：1人5,000円 会場：青葉旅館 長崎県北松浦郡佐々町本田原免 152 TEL0956-62-2456 ※佐々町総合福祉センターより徒歩6分程度の場所になります。

平成30年2月17日（土） / 2日目	
9:00	集合（長崎県・佐々町総合福祉センター）
9:00 ～ 10:00	○講義 2 「平戸市民病院における地域包括医療・ケアの取り組み」 講師：押淵 徹（国民健康保険平戸市民病院長）
	休憩

<p>10:10 ～ 11:50</p>	<p>○協議（グループワーク） 司会進行： 村上重紀（国診協リハビリテーション部会長） （広島県・公立みつぎ総合病院リハビリ部参与）</p> <p>※グループに分かれて協議（4グループ）</p> <p>○自己紹介及び書記役、発表役を決める 【10:10～10:15】</p> <p>1）各施設のリハビリ部門の現状（取組み内容・課題等）報告 【10:15～10:30】</p> <p>2）地域包括医療・ケア及び地域リハビリテーションを推進するためにリハビリ専門職に求められているもの何か？ ①求められているものは何か？ 【10:30～10:45】 ②ニーズに応えるために施設、各自ができること、すること 【10:45～11:00】</p> <p>3）発表／意見交換 【11:00～11:45】</p> <p>○参加者アンケート 【11:45～11:50】</p>
<p>11:50 ～ 12:00</p>	<p>閉講式 挨拶 全国国民健康保険診療施設協議会副会長 金丸 吉昌 （宮崎県・美郷町地域包括医療局総院長）</p>
<p>12:00</p>	<p>解散</p>

(6) 海外保健・医療・介護・福祉視察研修(隔年実施のため29年度は実施なし)
[平成30年度は「イギリス」を予定]

- 5 地域包括医療・ケア認定制度の認定（全自病協との共同事業）
平成29年度 認定施設 1施設（累計214施設）
認定医師 12人（累計437人：医師421人、歯科医師16名）
認定専門職 2人（累計338人）
- 6 医師臨床研修指導医講習会（全自病協との共同事業）
① 開催期日 平成29年8月～平成30年2月（7回開催）
② 参加人員 計284名（累計6,198名）

7 調査研究事業等

■ 厚生労働省老人保健健康増進等事業の実施結果(概要)

「中山間地域等（離島及び中山間地域）の小規模自治体（保険者）における地域包括ケアシステム構築の好事例の実態把握と都道府県、地方厚生（支）局の支援方策のあり方に

関する研究事業」

本事業では、中山間地域等における地域包括ケアシステム構築の現状を調査するとともに、少ない人材、資源の中で、地域独自の工夫、エリアを市町村単位と考えずより広域あるいは逆に市町村を分割した取り組みなどについての情報も収集して地域の実情に対応した地域包括ケアシステムの好事例を整理するとともに、中山間地域等の地域包括ケアシステムの体制構築に向けた国や都道府県・地方厚生（支）局による支援のありかたについて検討することを目的として実施した。併せて「住まいと住まい方」に着目し、「中山間地域等の基礎自治体における高齢者等の安定的な住まいと住まい方に検討マニュアル」を作成した。

※事業実施地域の枠組みとして、中国四国厚生局及び四国厚生支局所管エリアにて実施。

- ①中山間地域等の地域包括ケアシステム実態調査（アンケート調査）
 - ・自治体向け調査（対象 155 ヶ所）・国保直診向け調査（対象 179 ヶ所）
- ②先進的取組地域現地訪問調査（好事例収集ヒアリング調査）

実施地域：中国四国厚生局及び四国厚生支局所管エリアの各県から 1 自治体選定〔1.鳥取県智頭町、2.島根県雲南市、3.岡山県高梁市、4.広島県北広島町、5.山口県萩市、6.徳島県那賀町、7.香川県小豆島町、8.愛媛県西予市、9.高知県梶原町〕（計 9 自治体）
- ③「住まいと住まい方」の構築に係る支援方策検討（モデル事業・マニュアル作成）

モデル地区：広島県府中市
- ④地域包括ケアシステム構築のあり方に関する研修会の開催
開催日：平成 30 年 2 月 12 日
開催地：広島県広島市「広島県国民健康保険団体連合会大会議室」
参加者数：199 名（委員会関係者・事務局除く）

■ 独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成事業の実施結果(概要)

「多職種研修コーディネーター育成事業」

本事業では、在宅医療介護連携推進事業における「多職種研修」がより効率かつ効果的に実施できるよう、国診協で作成した「小規模自治体向け多職種研修プログラム」を多職種連携コンピテンシー達成の手段の一つとして位置づけ、多職種研修コーディネーター育成を目的とした研修会を開催した。併せて、「(ブロック) 支援拠点施設」を整備し継続的な支援（多職種研修の企画・運営を支援）する体制を構築した。

- ①多職種研修コーディネーター研修会の開催

国診協版「多職種研修運営ガイド・プログラム」の普及推進を運用するためのコーディネーター育成を目的とした研修会を開催した。

 - 研修会開催地・参加者
 - 1.北海道ブロック・札幌市（参加者：22 人）、2.東北ブロック・仙台市（参加者：31 人）、
 3. 関東甲信静ブロック・東京都港区（参加者：69 人）、4.東海北陸ブロック・金沢市（参加者：41 人）、5.近畿ブロック・大津市（参加者：45 人）、6.中国ブロック・松江市（参加者：38 人）、7.四国ブロック・高松市（参加者 47 人）、8.九州ブロック・熊本市（参加者：47 人）〔計 341 人〕
 - (ブロック) 支援拠点施設
 - 1.北海道ブロック・本別町地域包括支援センター、2.東北ブロック・市立大森病院、3. 関
- ②多職種研修開催支援拠点施設の整備

継続的支援体制を確保するため、全国 8 ヶ所（ブロック協議会単位毎に 1 ヶ所）に「(ブロック) 支援拠点施設」を指定し、多職種研修の企画・運営支援体制の整備を行った。

東甲信静ブロック・浜松市国民健康保険佐久間病院、4.東海北陸ブロック・県北西部地域医療センター国保白鳥病院、5.近畿ブロック・高島市民病院、6.中国ブロック・飯南町立飯南病院、7.四国ブロック・三豊総合病院、8.九州ブロック・国東市民病院

③モデル事業（モデル実施評価）

②の支援体制のモデル構築において「(ブロック) 支援拠点施設」では、実際に支援活動を行い、多職種研修プログラムや多職種研修コーディネーター研修会開催の効果等に関する評価を行ない「多職種研修運営ガイドに沿ったコーディネーター支援マニュアル」を作成した。

また、検討委員会では、(ブロック) 支援拠点施設で上記の活動を行う中で、事業の成果をより効率かつ効果的にすすめるため、都道府県単位の「(都道府県) 連携拠点施設」の整備を進めている（一部整備済み）。

■中央共同募金会赤い羽根福祉基金助成事業の実施結果(概要)

「医療・介護を必要とする者が、安全に避難し、被災後も継続的に医療・介護を受けることができる体制を作るための事業」

本事業では医療・介護を必要とする者が、安全に避難し、被災後も継続的に医療・介護を受けることができる体制を構築することを目的として、将来的に地区防災計画を策定するための端緒となることを目指した活動を行った。

その結果いくつかの課題を抱えながらも、地域と行政、医療・介護従事者の協働による「個別計画」作成が有効な手段であること、そのプロセスとして行った「防災まちあるき」や「避難援助マップの作成」は地域住民の防災意識や互助意識を高めるのに有効であること、「避難所マニュアルの作成」を通じて地域の防災体制を見直すことができること等の成果を得た。なお、事業実施結果を踏まえ、上記の活動がモデル連携地域以外でも推進されるよう「災害時における要援護者の継続したケア体制の手引き」を作成した。

①モデル連携団体（3地域）での活動

○モデル地域：〔1.富山県上市町（かみいち総合病院）、2.岐阜県郡上市（国保白鳥病院）3.静岡県浜松市天竜区（国保佐久間病院）〕

- 1.チームの立ち上げと地区内課題の整理・検討
- 2.要援護者への協力依頼（医療介護支援状況の把握及び支援の要望の聞き取り）
- 3.要援護者のための避難援助マップおよび避難所マニュアルの作成
- 4.地区住民を対象とした説明会の開催

②災害時ケアマネジメント研修会の開催

医療・介護を必要とする者が安全に非難し、被災後も継続的に医療・介護を受けることができる体制を整えるために、大規模災害における介護支援専門員等の震災対策や平常時からの必要な備え。また、担当する利用者の災害時リスクアセスメントを作成し、災害時台帳や災害時利用者一覧表が整備できるようにすることを目的に、モデル連携団体の担当者等の事業関係者を対象にした研修会を開催した。

開催日：平成 29 年 10 月 7 日

開催地：愛知県名古屋市「Time office」

参加者数：29 名（委員会関係者・事務局除く）

③災害時における要援護者の継続したケア体制の手引きの作成

本事業は要援護者の避難と避難後の医療介護の継続について、平時に地域と関係機関が連携しながら事前準備をしようという取り組みであり、その過程で地域内の互助意識や防災意識が涵養され地域づくりにも寄与できることがわかった。そこで、他地域での活動の道しるべとするべく、本事業で行った活動の軌跡を手引きとして記した。

8 表 彰

- (1) 地域包括ケアシステム推進功績者・国診協事業推進功績者表彰
 - ① 表彰式 平成 29 年 9 月 20 日(水) (第 57 回全国国保地域医療学会)
 - ② 会 場 東京 メルパルク東京ホール
 - ③ 受賞者 表彰者 44 名
- (2) 全国国保地域医療学会優秀研究表彰
 - ① 表彰式 平成 29 年 9 月 20 日(水) (第 57 回全国国保地域医療学会)
 - ② 会 場 東京 メルパルク東京ホール
 - ③ 受賞者 最優秀 1 名 優秀 5 名

9 国診協都道府県協議会等に対する支援

- (1) 都道府県協議会振興費の交付
- (2) 都道府県協議会等開催の国保地域医療学会等に対する助成
- (3) ブロック協議会会議開催に対する助成

10 広報・情報提供の推進

- (1) 「地域医療」誌発行 第 55 巻第 1 号～第 55 巻第 4 号
- (2) 「地域医療」特別号(第 56 回全国国保地域医療学会特集)発行

11 医師確保対策事業

自治体病院・診療所医師求人求職支援センターの運営

12 国診協 会長・副会長等の関係省庁・団体等における活動

職 名	役員等名
厚生労働省 今後の医師養成の在り方と地域医療に関する検討会委員 厚生労働省 独立行政法人地域医療機能推進機構評価委員 総務省 地域医療の確保と公立病院改革推進に関する調査研究会委員 日本専門医機構 総合診療専門医に関する委員会委員 NPO法人卒後臨床研修評価機構 地域医療を守る病院協議会[全自病協はじめ 5 団体](副会長も出席)	押淵会長
医療とニューメディアを考える会 世話人 日本在宅ケアアライアンス会議 (在宅医療助成 勇美記念財団)	福山副会長
独立行政法人福祉医療機構助成事業評価委員 公益社団法人全国自治体病院協議会理事(29 年度から)	靱井副会長
厚生労働省 医道審議会委員 医師分科会臨床研修部会委員 厚労省医師臨床研修制度の到達目標・評価の在り方に関するWG委員 日本専門医機構 総合診療専門医に関する委員会委員 日本専門医機構 総合診療専門医ワーキンググループ委員	金丸副会長
日本専門医機構 総合診療専門医ワーキンググループ委員	中村伸一